

# 詩卷百參拾六篇



1. あやほれ あれほれかんしゃしやあ〜れえ、めぐみにみちたるかみなれやハウエ、  
かみがみのかみにかんしゃしやあ〜れえ、しゆのしゆのヤハウエにかんしゃささげや、
2. あやほれ あれほれかんしゃしやあ〜れえ、ヤハウエがおひとりおどろくわざや、  
ちえのきわみなりてんをつ〜りやあ、めぐみのだいちをうみよりわける、  
あやほれ あれほれかんしゃしやあ〜れえ、ひかりにひかりをヤハウエはてらしや、  
ひるにはおひさまヤハウエはめ〜ぐみや、よるにはつきよほしぞらめぐる、
3. あやほれ あれほれかんしゃしやあ〜れえ、とらわれくるしむイスラエルびと、  
たかふるエジプトはつまご〜じきや、イスラエルびとのくびきをくだく、  
ちからのうでもちみちびきす〜くいや、うなばらさきわいにげみちつくる、  
イスラエルびとはうなばらあ〜るきや、ファオのへいたい〜うみにのみこむ、
4. あやほれ あれほれかんしゃしやあ〜れえ、さばくにさまようイスラエルびと、  
ちからほこる王〜つぎつぎく〜るわあ、アモリ王〜シホンほろぼしくくだく、  
バシヤンの王〜オグほろぼしく〜だきや、王〜のとちくだきしもべにわける、  
いやしめられひとこころにく〜だきや、てきのとらわれをうばいてかえす、
5. あやほれ あれほれかんしゃしやあ〜れえ、いきものすべてをうるおしめぐむ、  
あやほれ あれほれかんしゃしやあ〜れえ、みくにすまわれるかみなれやハウエ、



1〜5. かみのいつくしみ(37)と〜こしえにあれ〜(ヤレヨ)